

「第58回真空に関する連合講演会」における オーガナイズドセッションの提案採択について

日本真空学会 講演・研究会企画委員会

日本真空学会では、会員の関心のある特定分野の研究成果に関わる学術的な議論をより活性化し、学術情報の交換と新たな知識の創造の場としての学会機能を強化するため、本年（2017年）8月17日～19日に開催される「第58回真空に関する連合講演会」に於いても会員の直接的な提案に基づく「オーガナイズドセッション」を開催します。そのため3月1日（水）締切にて皆様からのご提案を募り、審査の上で下記提案の採択を決定しましたのでご報告いたします。なお本件の開催には、講演・研究会企画委員会が連合講演会プログラム委員会の協力の下で行います。

記

1. **タイトル** 真空誌60年と学会誌の将来
2. **提案者** 日本真空学会編集委員会
代表者：本田 融
(平成28年度編集委員長, 高エネルギー加速器研究機構)
3. **提案するオーガナイズドセッションの形式** シンポジウム型
4. **提案するオーガナイズドセッションの提案方式** セット提案型

※採択が決定した本オーガナイズドセッションはシンポジウム型の提案のため、一般講演の申込受付は行いません。なお今後提案者によって編成されるプログラムは、「第58回真空に関する連合講演会」ホームページ等にて公表いたします。

以 上

オーガナイザからのメッセージ：

日本真空学会の和文機関誌“Journal of the Vacuum Society of Japan”は、お陰様で平成29年に記念すべき第60巻の刊行にいたっております。1958年の創刊から「真空」誌として親しまれてきた60年の歩みを振り返ると共に、将来の学会誌のあり方を会員の皆様と共に考える機会となればと思ひこのセッションを提案させていただきました。盟友である日本表面科学会誌「表面科学」の編集委員会の皆様にもご協力をいただきながら、学会誌の充実に向けた実りある議論の場を提供いたしたく存じます。

(本田 融)

(参考)

1. **オーガナイズドセッションの形式**
 - ① **シンポジウム型**：一つのテーマの下における5～6件の依頼講演によるリレー式講演により、同一テーマの議論を深める形式。
 - ② **貸切セッション型**：一つのテーマの下における1, 2件の特別講演およびその他の一般講演により、同一テーマの議論を深める形式。
 - ③ **その他**：上記①または②以外の形式。(パネルディスカッション, 技術報告会など)
2. **オーガナイズドセッションの提案方式**
 - A. テーマ提案型**：オーガナイズドセッションの提案者はテーマとその趣旨説明を提案し、採択の後に講演・研究会企画委員会はそのテーマと趣旨の下でプログラムを具体化した上で、連合講演会プログラム委員会に提案する。
 - B. セット提案型**：オーガナイズドセッションの提案者がテーマとその趣旨説明を提案した上で、採択の後に提案者自らがオーガナイザとして具体的な講演者の依頼、一般講演の投稿募集、プログラム編成などを行った上で、その結果を講演・研究会企画委員会が連合講演会プログラム委員会に提案する。